



コントローラ の取り付け

この章では、コントローラの設置方法を説明します。また、この章には次の項が含まれています。

- [コントローラ の開梱および確認\(2-1 ページ\)](#)
- [コントローラの設置準備\(2-2 ページ\)](#)
- [ラックへのコントローラの設置\(2-3 ページ\)](#)
- [コントローラの初期設定\(2-8 ページ\)](#)
- [システム BIOS および Cisco IMC ファームウェア\(2-8 ページ\)](#)



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

ステートメント1071

これらの注意事項を保管しておいてください。

コントローラ の開梱および確認



注意

内部コントローラのコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、モジュールのフレームの端のみを持つようにしてください。



ヒント

コントローラの輸送が必要となる場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。



(注)

シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

-
- ステップ 1 コンテナからコントローラを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2 カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ 3 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号(梱包明細を参照)
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響
-

コントローラの設置準備

ここでは、コントローラの設置準備について説明します。この項の内容は次のとおりです。

- [設置に関するガイドライン\(2-2 ページ\)](#)
- [ラックに関する要件\(2-3 ページ\)](#)
- [工具の要件\(2-3 ページ\)](#)
- [スライド レールの調整範囲\(2-3 ページ\)](#)

設置に関するガイドライン



警告

システムの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の **35° C (95° F)** を超えるエリアで操作しないでください。
ステートメント 1047



警告

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。
ステートメント 1019



警告

この製品は、設置する建物に短絡(過電流)保護機構が備わっていることを前提に設計されています。この保護装置の定格が **250 V、15 A** 以下であることを確認します。
ステートメント 1005



警告

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。
ステートメント 1074



注意

コントローラを取り付ける際は、適切なエアフローを確保するために、レールキットを使用する必要があります。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く、つまり「積み重ねる」と、コントローラの上にある通気口がふさがれ、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が高くなったりする原因となる可能性があります。コントローラをラックに取り付ける場合は、これらのレールによりコントローラ間で必要な最小の間隔が提供されるため、レールキットにコントローラをマウントすることを推奨します。レールキットを使用してユニットをマウントする場合は、コントローラ間に追加のスペースは必要ありません。



注意

鉄共振テクノロジーを使用する UPS タイプは使用しないでください。このタイプの UPS は、Cisco UCS などのシステムに使用すると、データトラフィックパターンの変化によって入力電流が大きく変動し、動作が不安定になるおそれがあります。

ラックに関する要件

ここでは、標準的なオープンラックの要件について説明します。

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準的な 19 インチ (48.3 cm) 幅 4 支柱 EIA ラック (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサルピッチに適合するマウント支柱付き)。
- 付属のスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、0.38 インチ (9.6 mm) の正方形、0.28 インチ (7.1 mm) の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- 各コントローラの縦方向の最小ラックスペースは、2 RU、つまり 3.5 インチ (88.9 mm) である必要があります。

工具の要件

このコントローラ用にシスコから提供されるスライドレールの場合、設置先のラックに 0.38 インチ (9.6 mm) の正方形、0.28 インチ (7.1 mm) の円形、または #12-24 UNC のネジ穴があれば、設置用の工具は必要ありません。

スライドレールの調整範囲

このコントローラのスライドレールの調整範囲は 26 ~ 36 インチ (660 ~ 914 mm) です。

ラックへのコントローラの設置

ここでは、次の項目について説明します。

- [スライドレールの取り付け \(2-4 ページ\)](#)
- [ケーブルマネジメントアーム \(省略可能\) の取り付け \(2-6 ページ\)](#)
- [ケーブルマネジメントアーム \(省略可能\) の取り付けを逆にする \(2-7 ページ\)](#)

スライドレールの取り付け

この項では、シスコが販売するラック キットを使用して、コントローラをラックに取り付ける方法について説明します。



警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

ラックに設置する装置が1台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。

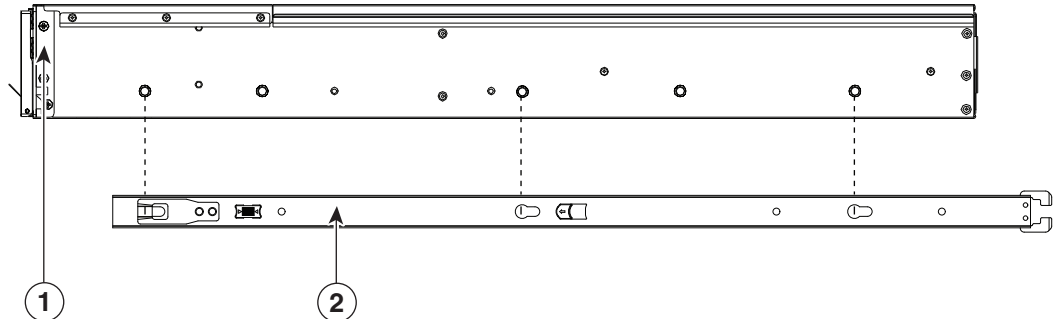
ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。

ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。ステートメント 1006

ステップ 1 コントローラの側面に内側レールを装着します。

- a. レール内の3つのキー付きスロットがコントローラ側面の3つのペグの位置に合うように、内側レールをコントローラの方の側の位置に合わせます(図 2-1 を参照)。
- b. キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。前面スロットには、前面ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- c. 2つ目の内側レールをコントローラの反対側に取り付けます。

図 2-1 コントローラの側面への内側レールの装着



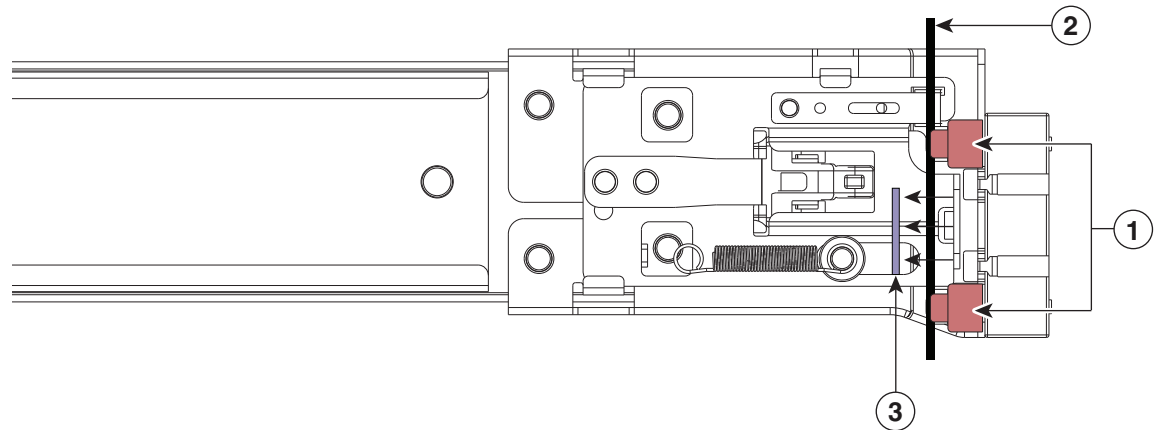
353365

1	コントローラの前面図	2	内側レールのロッククリップ
----------	------------	----------	---------------

ステップ 2 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります(図 2-2 を参照)。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 2-2 前面の固定部分、前端の内側



1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート
2	ラックポスト		

ステップ 3 スライドレールを次のようにラックに取り付けます。

- a. 片側のスライドレール部品的前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。スライドレール前端をラック支柱の外側に迂回させ、取り付けペグを外側前面からラック支柱の穴に入れます(図 2-2 を参照)。



(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。

- b. 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に押し込みます。
- c. 「PUSH」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。
- d. スライドレールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みます。スライドレールは前面から背面に向かって水平である必要があります。背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。
- e. 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2つのスライドレール部品が相互に同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- f. 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

ステップ 4 コントローラをスライドレールに装着します。



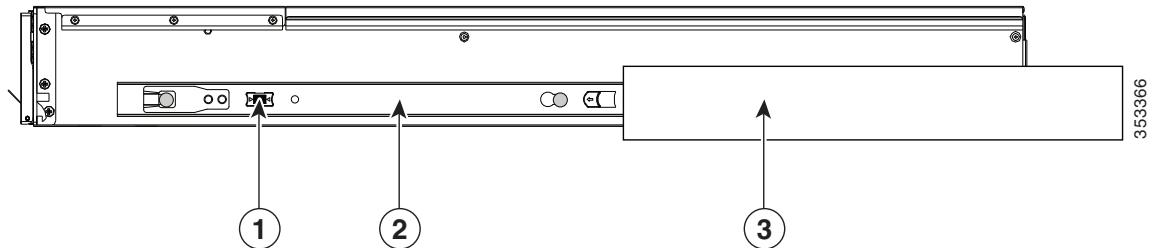
注意

このコントローラは、コンポーネントがフルに搭載されている場合、最大で 59 kg (67 ポンド) の重量になることがあります。コントローラを持ち上げるときは、2人以上で行うか、リフトを使用することを推奨します。この手順を1人で実行しようとする、怪我や機器の損傷を招くおそれがあります。

- a. コントローラの側面に装着されている内側レールの背面を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。

- b. 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。
- c. 両方の内側レールでリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら(図 2-3)、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、コントローラをラックに押し込みます。

図 2-3 内側レールのリリースクリップ



1	内側レールのリリースクリップ	3	ラック支柱に装着されている外側レール
2	コントローラに装着されている内側レール		

ステップ 5 (任意)スライドレールに付属の2本のネジを使用して、コントローラをさらに確実にラックに固定します。コントローラを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。

コントローラをスライドレールに完全に押し込んだ状態で、コントローラ前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、コントローラが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

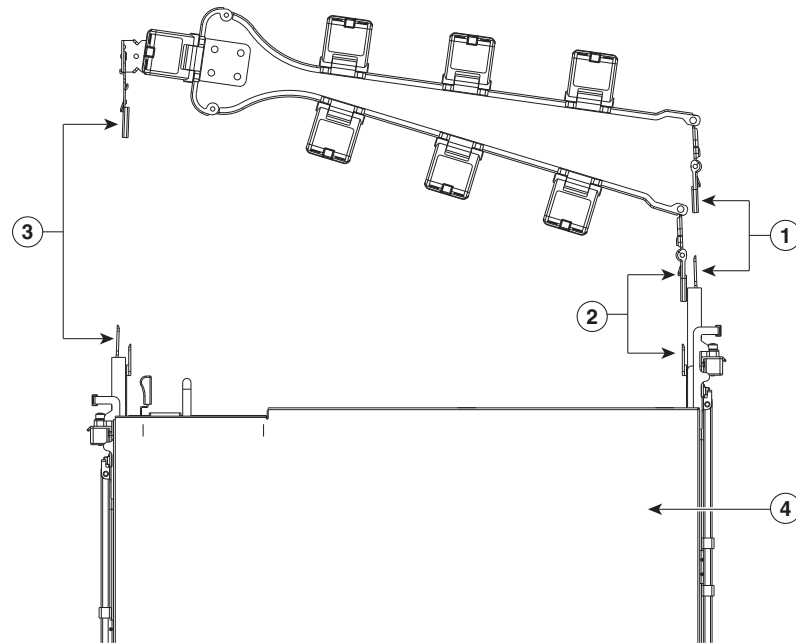
ケーブルマネジメントアーム(省略可能)の取り付け



(注) CMAは左右逆に取り付けることができます。CMAを逆に取り付けるには、取り付ける前に[ケーブルマネジメントアーム\(省略可能\)の取り付けを逆にする\(2-7ページ\)](#)を参照してください。

- ステップ 1** コントローラをラックに完全に押し込んだ状態で、コントローラから最も離れたCMAアームのCMAタブを、ラック支柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます(図 2-4を参照)。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 2** コントローラに最も近いCMAタブを、コントローラに装着された内側レールの終端にスライドさせます(図 2-4を参照)。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 3** ラックの幅に一致するまで、CMAアセンブリの反対側の終端にある幅調整スライダを引き出します(図 2-4を参照)。
- ステップ 4** 幅調整スライダの終端にあるCMAタブを、ラック支柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます(図 2-4を参照)。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 5** 各プラスチック製ケーブルガイドの上部でヒンジ付きフラップを開き、必要に応じてケーブルガイドを通してケーブルを配線します。

図 2-4 スライドレールの背面へのケーブルマネジメントアームの装着

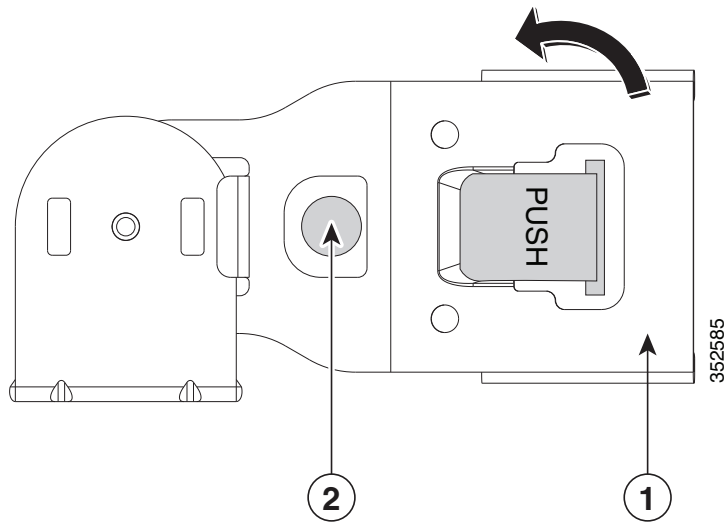


1	コントローラから最も離れたアームの CMA タブと外側の固定スライドレールの終端	3	幅調整スライダの CMA タブと外側の固定スライドレールの終端
2	コントローラに最も近いアームの CMA タブとコントローラに装着された内側のスライドレールの終端	4	コントローラの背面図

ケーブルマネジメントアーム(省略可能)の取り付けを逆にする

- ステップ 1** CMA アセンブリ全体を 180 度回転させます。プラスチック製ケーブルガイドは、上を向いたままにしておく必要があります。
- ステップ 2** コントローラの背面を向くように、各 CMA アームの終端でタブを反転させます。
- ステップ 3** 幅調整スライダの終端にあるタブを回転させます。タブの外側の金属ボタンを長押しし、コントローラの背面を向くようにタブを 180 度回転させます。

図 2-5 CMA の反転



1	幅調整スライダの終端の CMA タブ	2	回転用金属ボタン
---	--------------------	---	----------

コントローラの初期設定

コントローラの初期設定の手順については、『[Cisco 8540 Wireless Controller Deployment Guide](#)』を参照してください。

システム BIOS および Cisco IMC ファームウェア

ここでは、システム BIOS について説明します。この項の内容は次のとおりです。

- [BIOS および Cisco IMC ファームウェアの更新 \(2-8 ページ\)](#)
- [システム BIOS へのアクセス \(2-9 ページ\)](#)

BIOS および Cisco IMC ファームウェアの更新



注意

ユニットを初めて起動したとき、BIOS および Cisco IMC ファームウェアをアップグレードする必要はありません。

BIOS ファームウェアをアップグレードする場合、Cisco IMC ファームウェアも同じバージョンにアップグレードする必要があります。アップグレードしないと、コントローラが起動しません。BIOS と Cisco IMC のファームウェアが一致するまで電源をオフにしないでください。オフにすると、コントローラが起動しなくなります。

シスコは、BIOS、Cisco IMC、およびその他のファームウェアを互換性のあるレベルに同時にアップグレードできるよう支援するために、Cisco Host Upgrade Utility を提供しています。



警告

ファームウェアをアップグレードした後、工場出荷時のデフォルトにシステムをリセットしないでください。それを行うと、最初の BIOS セットアップとブート順序が削除されてしまいます。

コントローラには、シスコが提供し、承認しているファームウェアが使用されています。シスコは、各ファームウェア イメージと共にリリース ノートを提供しています。

ファームウェアを更新する方法としては、Cisco Host Upgrade Utility を使用方法のみがサポートされています。

システム BIOS へのアクセス

コントローラの BIOS 設定を変更できます。詳しい手順は、BIOS 画面にも表示されます。

- ステップ 1** ブート中にメッセージが表示されたら、F2 キーを押して BIOS Setup ユーティリティに切り替えます。



(注) このユーティリティの [Main] ページに、現在の BIOS のバージョンとビルドが表示されます。

- ステップ 2** 矢印キーを使って、BIOS メニュー ページを選択します。
- ステップ 3** 矢印キーを使って、変更するフィールドを反転表示にします。
- ステップ 4** Enter キーを押して変更するフィールドを選択し、そのフィールドの値を変更します。
- ステップ 5** Exit メニュー画面が表示されるまで右矢印キーを押します。
- ステップ 6** Exit メニュー画面の指示に従って変更内容を保存し、セットアップ ユーティリティを終了します(または、F10 キーを押します)。Esc キーを押すと、変更内容を保存せずにユーティリティを終了できます。

